

大妻同窓会長野

ご挨拶

一般財団法人大妻コタカ記念会

会長 井上 小百合

大妻同窓会長野の会員の皆様にはお変わりなくお過ごしでしょうか。

昨年は善光寺のご開帳が盛大に行われ、今年は諏訪大社の御柱祭りが続き、多くの人が長野においてになってさぞ賑わうことでしょう。

昨秋には秋風が心地よく感じられる中、大妻神社に長野の皆様とお参りできましたことは有難いことでした。一昨年、境内に大妻コタカ先生が杉の木をお手植えされたことを示す標柱が立てられましたが、時を経て風格が出てきたように見えました。

ここを訪れると、祖先を敬いこの大妻の地を大切にされていたコタカ先生のお心に思いをはせることができ、歴史の重みをしみじみと感じます。

さて、昨年9月にお送りした「ふるさと」67号の大学からの報告にもありますように、大妻女子大学は狭山谷キャンパスの閉鎖もあり、特に家政学部の志願者が前年比約10%増となりました。今後、社会情報学部、比較文化学部が多摩キャンパスから千代田キャンパスに移り、千代田キャンパスには最新設備の整った校舎が2棟建ちあがることによって、さらに人気が高まることが期待されます。

また、週刊東洋経済の「本当に強い大学ランキング」(2015年6月)では「教育力」「就職力」「財務力」「国際力」で大妻女子大学は総合40位、女子大の中では1位にランク付けされています。

このように「大妻」の評価が高まることは卒業生にとって大変嬉しいことです。その一方、私学としての大妻の建学の精神を理解し、コタカ先生の教えを日々の生活の中で生かしていく学生になってほしい、そして卒業後は母校を愛し母校に誇りを持って社会に貢献する女性に成長してほしいという思いは、卒業生皆様が抱いておられることと思います。

大妻コタカ先生は「前進することが伝統を生かすことである」という言葉を残されています。長い歴史と伝統を持った大妻学院が大きく飛躍し、学生の心に大妻コタカ先生の教えが浸透していくように、大妻コタカ記念会も役割を果たしていきたいと思っています。

代表の児玉幸子様を中心に、大妻同窓会長野の皆様の温かい心が一つになって、息の長い同窓会活動が続きますことを願っております。

第19回総会報告とご挨拶

代表 児玉幸子

会員の皆様にはお元気でお過ごしのことと存じます。この度、前任の宮坂徳子様より引き継ぎをしました児玉幸子と申します。どうぞ宜しくお願ひいたします。

昨年の総会は若葉の緑の美しい5月15日、記念会より井上小百合会長をお迎えし、松本ホテル花月にて開催することができました。

総会では、井上会長よりますます発展していく母校の様子をお聞きし、時代がどんなに変化しても家庭を守る女性の役割の重要性を改めて感じました。

和やかに会も進み、懇親会のときに井上会長より大妻受験の理由をご質問されたところ、皆さんそれぞれに大妻コタカ先生に憧れ、そして、家族の応援もあってご縁があった話に大いに盛り上がった場面もございました。

本年は第20回の総会となります、平成9年設立より長野支部そして同窓会長野として役員の皆様が協力して守ってこられた同窓会長野が益々発展していくよう頑張ってまりたいと思います。

本年の会場は真田家ゆかりの地上田と松代の中間である千曲市の笹屋ホテルで開催いたします。

竹久夢二、志賀直哉など多くの文豪が愛したホテルです。どうぞ皆様お出掛け下さい。そして懇親会後は湯量豊富な温泉で日頃の疲れを癒して頂けたら幸いです。

総会にお会いできるのを楽しみにしています。



新役員を代表して

思いつくままに

副代表 松倉 恵子

卒業以来四十有余年、五十年近くにもなろうとしております。

そんな私ですが、今年度初めて「大妻同窓会長野」に入会させていただきました。本当に長い間ご無沙汰致しました。初入会であり、総会にも都合で出席できなかったわけですが、今回の会報原稿の依頼をいただいてしまいました。もとより文章力もなく、皆様にお会いすることもなかった私が、何を書いたらよいのか困惑してしまいました。今までの疎遠の罪滅ぼしもあり、受けさせていただくことに致しました。「書くしかない」と腹をくくり、入学以来を思いつくままに書かせていただきました。

18歳で田舎娘が上京し、寮生活とはいえ都会生活を始めました。入学式のパンフレットなのか、ガイダンスのおりなのか今は定かではありませんが、18歳の私にとっては印象深く心に鮮明に残っている「恥を知れ」ということばとの出会いでした。胸を「ドーン」と打たれた思いがありました。「恥」とは「恥を知る」とは…。自分の今までを思わずふり返っている自分がいました。「ともに・親に」等々、自分の行動や思考への配慮不足・至らなさ・未熟さが脳裏に浮かんできました。思うに自分が悔いる思いをする行動・思考をしてしまった、それが恥であり恥ずかしく思う自分になることが「恥を知る」ことではないのか。自分に恥ずかしくない人にならなければ、もっとしっかりした成長をしていこう。当時のこのことばとの出会いでした。

卒業し故郷に帰り就職・結婚・育児と年月を重ねて参りました。年月は重ねましたが、毎日の生活は、家庭と職場との往復で日々過ぎてしまっていることが現実でした。「子育て・家族のこと・共働き」等これでよいのかとも考えましたが、なんとか定年まで勤め退職することができました。退職してから現在まで少しのボランティアをし、お世話になった地域の皆様に万分为一でもお返しをしなければとの思いはあるのですが、思うようにできてはおりません。また共働きで協力してくれた家族にも何らお返しができていない気が致します。恥ずかしいことです。年を重ね「わ」をかけて厚かましく恥に気づかず恥を重ねていくようにも思えます。

「恥」を本当の意味で知ることは、悔しい思いはしますが、自分に甘い自分が今の自分であり、本当の理解が今もって浅いようです。「恥を知れ」は私にとって永遠のテーマであり、追いつけない成しえないことのようです。またそう思う自分が「恥を知れ」なのではないでしょうか。

大妻神社例大祭に参加して

副代表 岩井 茂子

役員をさせていただき良かったことのひとつに初めて大妻神社を参拝する事が出来たということです。

境内は地元の氏子の方々のお陰様できれいに掃き清められ、非常に厳かな気持ちになりました。

普段はなかなかお参りできませんが、九月二十三日の例大祭には役員だけではなく会員の皆様に大勢ご参拝頂けるようお願い申し上げます。



9月23日 井上会長 前役員 新役員 大妻神社参拝

役員紹介

代 表 児玉 幸子 (S43)	千曲市)
副代表 松倉 恵子 (S43)	長野市)
会 計 久保たか子 (S43)	千曲市)
庶 务 篠原 恵子 (S48)	佐久市)
監 事 宮坂 徳子 (S38)	岡谷市)
岩井 茂子 (S45)	長野市)
中曾根光子 (S44)	千曲市)
小林佐千子 (S43)	長野市)
宮坂 政子 (S40)	岡谷市)



設立に御尽力下さったお二人からのメッセージ

設立を振り返って

遠藤由加利、横田美之

皆様ごきげんよう。

平成9年当時、前会長、加藤敏子先生より「長野県にも、支部があればいいですね。」というお言葉をいただき設立の準備を始めました。

設立の条件として、会員数、会則等の規定を満たす必要がありました。本部から、200余名の長野県内の卒業生の名簿をお預かりし、それを手がかりに先ず二人で全員に電話連絡をさせて頂きました。(今ならオレオレ詐欺ですね!?) その中でご

都合のついた方々にお集まり頂き、準備会を開催いたしました。

このような段階を経て、本部理事会において承認され、平成9年11月43名出席のもと、第一回総会をもちまして支部が結成されることとなりました。

設立当時を振り返りますと、私共も30代でしたが、先輩方の多大なるご賛同を得ることができましたが、何よりの励みなりました。

今日、このように長野県支部、現在は同窓会長野を発展させていただきこの場をおかりいたしまして心より感謝申し上げます。



みなさん若かったですですね

準備会のときホテルブエナビスタにて



大妻ユタカ先生 叙勲(勲三等) の時の額です

第20回 大妻同窓会長野 平成28年度総会のご案内

1. 日 時 平成 28 年 5 月 15 日 (日)

午前11時～受付

午前11時30分～総会、懇親会

戸倉上山田温泉

1. 会 場 笹屋ホテル

〒389-0807 千曲市千曲之湯戸倉温泉

TEL 026-276-1338

1. 会 費 6000円

註) お手数でも出欠席にかかわらず同封のハガキを4月30日(土)必着で返信くださいますよう
お願ひいたします。

連絡先 児玉幸子 電話 026-275-1907

会費納入のお願い

会費未納又は平成 26 年度で会費の
振込先 郵便振替 口座番号

1年間 1,000円 (何年分で
振込み手数料 80円 (ATM) 1:

振込先

銀行名
金融機関コード
店番
店名 (カナ)
預金種目
口座番号
カナ氏名
(受取人名)

※大妻コタカ記念会への入会もお願ひいたします。会員の方には「ふるさと」の会誌が配布されます。
現在の母校の様子等が細かく記載されております。

編集後記

皆様こんにちは。27年度の役員は新風を吹き込み、
ほとんど新会員で試行錯誤しながら頑張っています。二
年で役員が交替するので、役員の負担を軽減しどなた
にもお気軽にやって頂けるシステム作りを致しました。どう
ぞ宜しくお願ひいたします。

久保たか子 中曾根光子

発行者…大妻同窓会長野

発行日…平成 28 年 3 月 31 日

印刷所…(有)ミヤサカ印刷
松本市島立 1144-1
0263-47-3017